



	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

大学案内 [トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成18年1月-12月](#) > 4代目、練習船「豊潮丸」の建造について

入試情報 4代目、練習船「豊潮丸」の建造について

教育・学生生活 報道機関各位

研究 平成18年3月13日
国立大学法人 広島大学
情報化推進部広報課長

社会連携

留学・国際交流 最新の海洋観測調査設備を搭載し、環境にやさしいスーパーエコシッ
学部・大学院等 プ第4代目、広島大学生物生産学部附属練習船「豊潮丸」の建造につ
研究所・施設等 いて

広報・報道 広島大学(学長: 牟田泰三)は、全電気推進システムを採用し最新海洋観測調査設
採用情報 備を搭載した第4代目の生物生産学部附属練習船「豊潮丸」(とよしおまる)を建造し
ます。起工式は3月15日(水)、進水式は8月10日(木)、竣工式は11月末の予定で
す。

校友会・同窓会

支援財団・基金 このたび建造する新「豊潮丸」は、従来の推進システムより燃料消費や有害排ガス
図書館・博物館等 量などが少なく環境にやさしい「伝電気推進システム」を採用しています。本システム
の採用は、国立大学法人所有の中・大型船舶の中では初めてであり、類似の推進シ
ステムを採用した船舶としては、本邦では第4番目となります。

大学病院 また、豊潮丸は、これまで生物生産学部の海洋フィールド教育における動く実習施
附属学校 設として大きな役割を果たすとともに、瀬戸内海を中心とする本邦南西海域における
赤潮研究、低次生産研究、魚類生態研究、クラゲ大量発生研究などで特筆すべき研
究成果を上げてきました。最新鋭の調査・研究設備を搭載した新「豊潮丸」は、こう
した瀬戸内海の環境保全と海洋生物資源の有効利用に関する教育・研究を、より充
実させることができます。さらに、生物生産学及び生物圏科学の分野において、地
球規模の広い視野を持って活躍できる専門家・研究者の養成にも活用します。

広大公式アカウント一覧

- Twitter
- Facebook (日本語版)
- Facebook (英語版)
- YouTube
- 行事カレンダー
- ストリートビュー
- キャンパスカメラ
- 学内ポータル

豊潮丸は、中国・四国・近畿地方では唯一の国立大学法人が所有する水産系練習船であり、生物生産学部の前身である水畜産学部の創設時(1949年)に設置され、2代目(建造は1959年)、現在の第3代目(建造は1978年)を経て、今回建造されるのが4代目となります。

なお、建造作業は、岡山県玉野市の三井造船株式会社玉野事業所にて行われます。

新「豊潮丸」主要目

- ・総トン数 : 約250トン
- ・全長 : 約40.5m
- ・幅 : 8.5m
- ・深さ : 3.7m
- ・搭載人員 : 船員12名、教員2名、学生18名
- ・推進システム : 全旋回式縦軸型推進機による電気推進
- ・最新海洋観測調査設備 : 各種音響機器、多項目環境要因測定システム、各種プロット・稚魚採集ネット、表層モニタリングシステム、大型Aフレームなど
- ・建造費 : 約18億円

【お問い合わせ先】
広島大学大学院生物圏科学研究科 教授 上 真一
電話: 082-424-7940
ファックス: 082-424-7916
Eメール: suye@hiroshima-u.ac.jp